

**国際原子力機関 (IAEA) / 原子力国際協力センター / 若狭湾エネルギー研究センター
共催で原子力人材育成研修『メンタリングコース』を開催します**

(公財) 若狭湾エネルギー研究センターでは、県が推進する「エネルギー研究開発拠点化計画」の一環として、国内はもとより、アジアをはじめとした世界の原子力の安全技術と人材育成に貢献するため、海外からの研修生受入れなどの人材育成事業を進めています。

今回、昨年に引き続き、国際原子力機関 (IAEA)、原子力国際協力センター (JICC)、若狭湾エネルギー研究センターが共同で、アジア、ヨーロッパ、アフリカの原子力関係の行政官を対象とした研修『メンタリングコース』を開催しますので、お知らせします。

記

- 1 研修内容 国内の原子力関連施設等を視察し、原子力発電に関する日本の技術や人材育成を含めた安全対策等に関する最新の知識を習得
※ 日本人指導者 (メンター) が同行し、事前の情報提供や説明補助などにより研修生をサポート
- 2 研修期間 平成 26 年 6 月 2 日 (月) ~ 6 月 13 日 (金) [2 週間]
※ 9 日 (月) ~ 11 日 (水) は県内に滞在し、県内施設の視察等を実施
- 3 研修場所 国内の原子力関連施設等 (別紙のとおり)
- 4 実施主体 【共催】 国際原子力機関 (IAEA) ※¹、一般財団法人原子力国際協力センター (JICC) ※²、公益財団法人若狭湾エネルギー研究センター (WERC)
※¹ 世界の原子力平和利用の促進および原子力の軍事的利用への転用を防止する活動を進める国際機関 [本部: オーストリア ウィーン]
※² 原子力関係各方面と連携し、日本として原子力発電の新規導入国等に対する基盤整備協力を実施する中核組織 [本部: 東京]
- 5 研修生 アジア・ヨーロッパ・アフリカの原子力関係の行政官 16 名
バングラデシュ 2 名、インドネシア 1 名、マレーシア 1 名、モンゴル 1 名、フィリピン 1 名、スリランカ 2 名、タイ 1 名、ベトナム 2 名、トルコ 2 名、リトアニア 1 名、スーダン 2 名
- 6 取材案内 今回の研修の取材については、次のとおりとさせていただきます。

日 時	場所
6 月 9 日 (月) 11:00~11:40	福井県若狭湾エネルギー研究センター (歓迎挨拶、エネ研の紹介)

〔申し込み方法等〕

取材を希望される報道機関の方は、事前に別添の取材申込書で、下記「お問合せ先」まで F A X にてご連絡願います。また、当日は開始時間の 10 分前までに正面玄関にお越し下さい。

お問合せ先: (公財) 若狭湾エネルギー研究センター
福井県国際原子力人材育成センター
前田、渡邊

TEL: 0770-24-7271、FAX: 0770-24-7288

IAEA/JICC/WERC共催 原子力人材育成研修「メンタリングコース」行程表

第1週 6/1(日)	6/2(月)	6/3(火)	6/4(水)	6/5(木)	6/6(金)	6/7(土)
成田空港着	TKPカンファレンスセンター(東京) 講義等	東京 ↓ 仙台 ↓ 女川原子力発電所 ↓ 仙台	仙台 ↓ 八戸 ↓ 六ヶ所原子燃料サイクル施設 ↓ むつ	むつ ↓ 大間原子力建設所 ↓ 函館	函館 ↓ (株)日本製鋼所 室蘭製作所 ↓ 札幌	札幌 ↓ 千歳空港発 ↓ 関西空港着 ↓ 京都
東京泊	東京泊	仙台泊	むつ泊	函館泊	札幌泊	京都泊
第2週 6/8(日)	6/9(月)	6/10(火)	6/11(水)	6/12(木)	6/13(金)	6/14(土)
京都	京都 ↓ 敦賀 ↓ 若狭湾エネルギー研究センター 【11:00-11:40】 ↓ 原子力の科学館「あっとほうむ」 福井県原子力環境監視センター ↓ 敦賀	敦賀 ↓ (株)原子力発電訓練センター ↓ 日本原子力発電(株)敦賀総合研修センター ↓ 敦賀商工会議所 ↓ (株)プラントテクノス ↓ 敦賀	敦賀 ↓ 大飯原子力発電所 ↓ 神戸	神戸 ↓ 三菱重工業(株)神戸造船所(本工場) ↓ 三菱重工業(株)二見工場 ↓ 東京	TKPカンファレンスセンター(東京) 研修のまとめ等	成田空港発
京都泊	敦賀泊	敦賀泊	神戸泊	東京泊	東京泊	

※ 網掛けは取材対応可能な場所および時間

